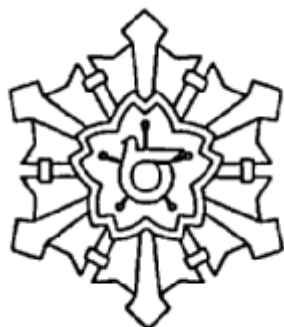


令和4年度

消防学校教育訓練計画



鳥取県消防学校

目次

1	令和4年度鳥取県消防学校教育訓練計画	
(1)	基本方針	1
(2)	教育種別及び到達目標	
ア	消防職員初任教育	1
イ	消防職員教育	1・2・3
ウ	消防団員教育	3・4
エ	一般教育	4
2	令和4年度教育訓練計画の教育種別一覧表	5
3	令和4年度教育訓練計画の月別実施予定表	6
4	教育種別教科目及び時間数	7
(1)	消防職員教育	
ア	初任総合教育第7期	7
イ	専科教育救助科第22期	8
ウ	専科教育警防科第11期	8
エ	専科教育火災調査科第14期	9
オ	専科教育予防査察科第14期	9
カ	幹部教育上級幹部科第4期	10
キ	特別教育緊急消防援助隊活性化コース第1回	10
ク	特別教育救急救命士活性化コース第2回	10
ケ	特別教育ホットトレーニング2日間コース第29・30回	11
コ	特別教育警防研修第11回	11
(2)	消防団教育	
ア	基礎教育第75期	12
イ	専科教育警防科第51期	12
ウ	専科教育機関科第57期	12
エ	幹部教育指揮幹部科第5期	12
オ	特別教育消防操法指導科第45期	12
カ	特別教育女性団員教育第16期	12
キ	現地教育	12
ク	一日入校	12
(3)	一般教育	
ア	自衛消防組織員教育科	13
(ア)	福祉施設第64期	13
(イ)	事業所	13
イ	自主防災教育	13
ウ	一日入校	13
エ	出前講座	13
オ	応急手当普及員養成講習	13
カ	応急手当指導員養成講習	13
5	参考	
(1)	令和4年度鳥取県消防学校入校中経費内訳一覧表	14
(2)	携行品一覧表	15

1 令和4年度鳥取県消防学校教育訓練計画

(1) 基本方針

消防職員及び消防団員に対して、消防の責務を正しく認識させるとともに、人格の向上、学術技能の修得、体力の錬成、規律の保持、共同精神の涵養を図り、もって公正明朗、かつ能率的に職務を遂行し得るよう、その資質を高める。

また、一般に対しては、消防について必要な基礎知識を修得させ、もって防災意識の高揚と普及を図る。

(2) 教育種別及び到達目標

ア 消防職員初任教育

初任総合教育

新規採用職員を対象に、消防の責務を正しく理解させ、消防業務の基礎的な知識及び技術を修得させるとともに、気力・体力の錬成を図り、もって有能な消防職員を育成する。併せて、救急隊員の行う応急処置等の専門知識及び技術を修得させ資格を取得させる。

(到達目標)

- ・ 服務義務を理解し、職務意欲が旺盛で、住民の信頼を得られること。
- ・ 警防隊員として、基本的な安全管理について理解し、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の下命に基づく基本的な活動ができること。
- ・ 消防業務全般について概要を理解していること。
- ・ 住民からの一般的な質問に応答できること。
- ・ 救急業務及び救急医学に関する基本的な知識を有していること。
- ・ 応急処置に必要な解剖生理及び各科の疾病状況に関する専門的知識を有しており、応急処置時における的確な観察及び判断能力を備えていること。
- ・ 応急処置に必要な専門的スキルを十分に発揮できること。
- ・ 救急用器具及び材料の取扱いに関して精通していること。

イ 消防職員教育

(ア) 専科教育救助科

消防士長以下の消防職員を対象に、救助活動に必要な気力・体力の錬成と、火災及び都市型災害等の救助活動に必要な基礎知識、技術を修得させる。

(到達目標)

- ・ 厳しい環境、条件下において救助活動を遂行し得る旺盛な士気及び強健な身体を有していること。
- ・ 救助活動に係る最新の専門的知識を豊富に有しており、専門的で高度な技能及び技術を備え、これらを活用した応用力を十分に発揮できること。
- ・ 救助活動及び救助訓練において自らの安全を確保できること。

(イ) 専科教育警防科

消防士長以下の消防職員を対象に、警防活動に必要な気力・体力の錬成と、火災及び都市型災害等の警防活動に必要な基礎知識、技術を修得させる。

(到達目標)

- ・ 警防行政の現状及び課題を理解していること。

- ・防災関係法令に関する専門的知識及び災害対策に関する最新の知識を豊富に有していること。
- ・各種災害事象に対する基本的消防戦術を理解し、災害現場において部隊を安全、適切かつ効果的に指揮できること。
- ・心身の健康管理に積極的に取り組めること。

(ウ) 専科教育火災調査科

火災調査に従事する消防職員を対象に、原因調査関係法規、原因調査、損害調査、鑑定、調査実習など火災調査遂行上必要な知識及び技術を修得させる。

(到達目標)

- ・火災調査業務に係る制度を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。
- ・原因調査、損害調査及び鑑定等に係る専門的知識を豊富に有しており、的確な判断力を備えていること。
- ・文書事務に係る知識を豊富に有しており、技能を十分に発揮できること。

(エ) 専科教育予防査察科

予防業務に従事する消防職員を対象に、消防用設備の諸基準、建築物の規制、防火管理、査察、違反処理など予防業務遂行上必要な知識及び技術を修得させる。

(到達目標)

- ・査察行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。
- ・防火管理、建築規制、危険物規制及び消防用設備等に係る専門的知識を豊富に有しており、査察要領を修得していること。
- ・違反処理に係る専門的知識を修得し、違反對象物に対して是正を指導できること。

(オ) 幹部教育上級幹部科

消防司令長の階級にある職員又は、それに準ずる階級にある職員を対象に、管理職の役割を理解し、人事管理、部下育成、職場のメンタルヘルス、危機管理を行い、組織を管理運営できる知識と人格を養成することを目的とする。

(到達目標)

- ・上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理及び危機管理に必要な知見を備え、かつ、職責遂行に必要な水準の判断力を有し、組織全体を円滑に管理運営できること。

(カ) 特別教育緊急消防援助隊活性化コース

緊急消防援助隊を指揮及び管理する職員を対象に、緊急消防援助隊に関する事項全般について教育を行い、活動を管理運営できる知識と技術の修得を図ることを目的とする。

(キ) 特別教育救急救命士活性化コース

救急救命士を対象に、救命処置を行うための再教育を行い、救急（災害）活動に必要な知識及び技術を習得させ、職務遂行能力の向上を図ることを目的とする。

(ク) 特別教育ホットトレーニング2日間コース

消防職員を対象に、実火災体験型訓練施設を活用し、火災性状等に関する知識、熱環境下における注水技術の修得を図ることを目的とする。

(ケ) 特別教育警防研修 実火災体験型訓練指導者養成コース

主として指導的立場にある職員を対象に、実火災体験型訓練施設を活用し、火災性状等に関する知識、熱環境下における注水技術、強いリーダーシップを含む指導技術の修得を図ることを目的とする。

ウ 消防団員教育

(ア) 基礎教育

新任消防団員又は、消防団員としての経験が概ね三年に満たず、消防学校における教育訓練を受講したことがない者（団員の階級にある者に限る。）を対象に、基本的な訓練礼式と消火活動に必要な技術を修得させる。

(到達目標)

- ・地域防災の担い手としての任務を自覚し、消防組織の概要及び消防対策に必要な地域特性を理解していること。
- ・災害現場では自らの安全を確保しながら、下命に基づく現場活動を遂行できること。

(イ) 専科教育警防科

主として警防担当の団員に対し、消火活動に必要な知識及び技術を修得させる。

(到達目標)

- ・火災防ぎょ活動に関する専門的知識及び行動原則並びに各種災害事象における消防団の役割及び活動内容を理解していること。
- ・災害現場において中核的な活動を遂行できること。

(ウ) 専科教育機関科

主として機関担当の団員に対し、機関運用に必要な知識及び技術を修得させる。

(到達目標)

- ・道路交通関係法令及びポンプ工学に関する専門的知識を有していること。
- ・消防自動車を迅速かつ的確に運行できること。

(エ) 幹部教育指揮幹部科

原則として班長以上の消防団員を対象に、大規模災害時における指揮者としての職責を自覚し、団員の指揮監督に必要な知識を修得させる。なお、現場指揮課程、分団指揮課程の両課程修了者を指揮幹部科修了と認定する。

a 現場指揮課程

(到達目標)

- ・消防団幹部としての職責を自覚し、消防団の管理運営及び活性化に資する広い知識を有していること。
- ・各種災害発生事象において、消防団に期待される役割及び効果的な防ぎょ活動の在り方を深く理解していること。

b 分団指揮課程

(到達目標)

- ・分団の指揮者としての職責を自覚し、消防団の管理運営及び活性化に資する広い知識を有し

ていること。

・各種災害発生時における分団の管理運営及び効果的な現場活動の在り方を深く理解していること。

(オ) 特別教育女性団員教育

女性団員及び女性隊員を対象に、基本的な訓練礼式と消火活動及び広報・啓発活動に必要な知識及び技術を修得させる。

(カ) 特別教育消防操法指導科

原則として班長以上の消防団員を対象に、消防ポンプ操法指導者として必要な知識、技術及び指導要領を修得させる。

(キ) 現地教育

消防団員を対象に、市町村に出向き現地において教育訓練を実施する。

(ク) 一日入校

消防団員を対象に、防災講座、消火訓練等要請のあった科目に応じた教育を行う。

エ 一般教育

(ア) 自衛消防組織員教育科

福祉施設及びその他の事業所の職員を対象に、自衛消防組織員として必要な知識及び技術を修得させる。

(イ) 防災教育

地域の自主防災組織員を対象に、防災に関する知識及び技術を修得させる。

(ウ) 一日入校

一般県民を対象に、防火講座、消火訓練等要請のあった科目に応じた教育を行う。

(エ) 出前講座

一般県民を対象に、現地に出向いて地元消防団員とともに防火講座、消火訓練等要請に応じた教育を行う。

(オ) 応急手当普及員養成講習

消防団員及び一般県民を対象に、応急手当に関する基礎的な知識、技能及び指導要領を習得させ、応急手当普及員を養成する。

(カ) 応急手当指導員養成講習

応急手当普及員を対象に、応急手当に関する基礎的な知識、技能及び指導要領を習得させ、応急手当指導員を養成する。

2 令和4年度教育訓練計画の教育種別一覧表

教育種別		期間	時間数	回数	人数	対象	
消防職員	初任総合教育 第7期	229日	1059h	1	18人	新規採用職員	
	専科教育	救助科 第22期	30日	140h	1	13-15人	消防士長以下の消防職員
		警防科 第11期	15日	70h	1	13-15人	消防士長以下の消防職員
		火災調査科 第14期	15日	70h	1	13-15人	火災調査に従事する消防職員
		予防査察科 第14期	15日	70h	1	13-15人	予防業務に従事する消防職員
	幹部教育	上級幹部科 第4期	4日	21h	1	13-15人	消防司令長の階級にある消防職員又は、それに準ずる階級にある消防職員
	特別教育	緊急消防援助隊 活性化コース 第1回	4日	23h	1	13-15人	管理、監督、指導的立場にある消防職員
		救急救命士活性化コース 第2回	4日	26h	1	13-15人	救急救命士又は、救急隊員
		ホットトレーニング 2日間コース 第29・30回	2日	12h	2	13-15人	消防職員
		警防研修第11回 実火災 体験型訓練指導者養成コース	5日	30h	1	8人	主として指導的立場にある消防職員
消防団員	基礎教育 第75期	2日	14h	1	30人	新任消防団員又は、消防団員としての経験が概ね三年満たず、消防学校教育訓練を受講したことのない者	
	専科教育	警防科 第51期	1日	6h	1	20人	主として警防担当の消防団員
		機関科 第57期	1日	6h	1	20人	主として機関担当の消防団員
	幹部教育	指揮幹部科 第5期	3日	18h	1	20人	原則として班長以上の消防団員
	特別教育	消防操法指導科 第45期	2日	12h	1	30人	原則として班長以上の消防団員
		女性団員教育 第16期	1日	6h	1	20人	女性消防団員及び女性隊員
		現地教育	1日	5h以内	随時	20人	消防団員
	一日入校	1日	3h以内	随時	20人	消防団員	
一般	自衛消防組織員教育科 福祉施設 第64期	2日	12h	1	30人	福祉施設に従事する職員	
	自衛消防組織員教育科 事業所	1日	3h	随時		事業所に従事する職員	
	自主防災教育	1日	6h以内	随時		地域の自主防災組織員	
	一日入校	1日	3h以内	随時		一般県民	
	出前講座	1日	5h以内	随時		一般県民	
	応急手当普及員養成講習	3日	24h	2回	各30人 (3会場)	消防団員及び一般県民	
	応急手当指導員養成講習	2日	16h	1回	各30人 (3会場)	応急手当普及員養成講習を修了した者	

3 令和4年度教育訓練計画の月別実施予定表

教育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間	時間数	回数	人員	備考	
消防員	初任総合教育 4日(月)第7期							18日(金) ↑					229日	1059h	1	18人	全寮制	
	救助科			12日 第22期	10日 ↑								30日	140h	1	13-15人	全寮制	
	警防科							30日 第11期	14日 ↑				15日	70h	1	13-15人	全寮制	
	火災調査科									17~31日 第14期			15日	70h	1	13-15人	全寮制	
	予防査察科										8~22日 第14期		15日	70h	1	13-15人	全寮制	
	上級幹部科			6~9日 第4期									4日	21h	1	13-15人	全寮制	
	緊急消防援助隊 活性化コース						6~9日 第1回						4日	23h	1	13-15人	全寮制	
	救急救命士 活性化コース								19~22日 第2回				4日	26h	1	13-15人	全寮制	
	ホットトレーニング 2日間コース											2.3日 第29回	9.10日 第30回	2日	12h	2	13-15人	全寮制
	警防研修第11回 <small>火災現場救助訓練指導員養成コース</small>												13~17日 第11回	5日	30h	1	8人	全寮制
消防団員	基礎教育	16.17日 第75期											2日	14h	1	30人	全寮制	
	警防科				20日 第51期								1日	6h	1	20人		
	機関科					10日 第57期							1日	6h	1	20人		
	指揮幹部科							12.13.19日 第5期					3日	18h	1	20人	全寮制	
	消防操法指導科		14.15日 第45期										2日	12h	1	30人	全寮制	
	女性団員教育			11日 第16期									1日	6h	1	20人		
	現地教育												1日	5h以内	随時	20人		
	一日入校												1日	3h以内	随時	20人		
	自衛消防 福祉施設 組織員教育科 事業所												2.3日 第64期	2日	12h	1	30人	全寮制
	自主防災教育												1日	3h	随時			
一般	一日入校 出前講座												1日	6h以内	随時			
	応急手当普及員養成講習												1日	3h以内	随時			
	応急手当指導員養成講習												1日	5h以内	随時			
													各3日	各24h	2	各会30人		
												2日	16h	1	各会30人			

(東：東部会場、中：中部会場、西：鳥取県消防学校)

4 教育種別教科目及び時間数

(1) 消防職員教育

ア 初任総合教育第7期

教科目	項目				時間数
基礎教育	倫理	5	消防制度	10	95
	法制通論	17	サービスと勤務	28	
	消防法	12	理化学	23	
実務教育	予防・広報	12	特殊災害と保安	18	168
	危険物	7	火災防ぎょ	26	
	消防用設備	13	火災調査	11	
	査察	22	防災	18	
	建築	11	消防機械ポンプ	17	
	安全管理	13			
実科訓練	訓練礼式	46	機器取扱訓練	51	460
	消防活動訓練	92	消防活動応用訓練	127	
	救助訓練	86	体育	58	
救急業務及び救急医学の基礎	救急業務の総論	4	医学概論	3	64
	解剖・生理	41	社会保障・社会福祉	3	
	救急実務及び関係法規	7	惨事ストレス対策等	6	
応急処置の総論	観察、検査、応急処置総論、応急処置各論(処置実技)、救急医療・災害医療				71
病態別応急処置	心肺停止、ショック・循環不全、意識障害、出血、呼吸困難、胸痛・動悸・不整脈、腹痛、外傷総論、頭部・顔面・頸部外傷、脊椎・脊髄外傷、胸部・腹部外傷、骨盤・四肢外傷、多発外傷、皮膚・軟部組織外傷、熱傷・電撃症、化学損傷、中毒、溺水、異物(気道・消化管)、熱中症、偶発性低体温症、凍傷、高山病、減圧障害、酸素欠乏症、動物による咬傷・刺傷				62
特殊病態別応急処置	小児・新生児、高齢者、産婦人科・周産期、精神障害				25
実習	外傷シミュレーション、シミュレーション				28
その他	実務研修	42	行事・その他	44	86
合計					1059

イ 専科教育救助科第2期

教科目	項目	時間数
講話	職責と心構え	1
安全管理	概要、救助活動における安全管理、救助訓練における安全管理、危険予知訓練	13
災害救助対策	概要、緊急消防援助隊、救助対策と活動事例	17
救急	外傷処置、多数傷病者発生時の処置	7
救助器具取扱訓練	主要な救助器具の取扱い	13
救助訓練	高所からの救助、低所からの救助、火災時における救助、交通事故における救助、地震時における救助、その他事故における救助、救急救助、航空救助	42
総合訓練	想定訓練	36
健康管理	体力管理、精神衛生	4
効果測定	学科考査、実技考査	3
行事、その他	入校式、修了式、オリエンテーション	4
合計		140

ウ 専科教育警防科第1期

教科目	項目	時間数
講話	職責と心構え	1
防災	災害対策基本法の概要、水防法の概要、武力攻撃事態における国民保護に係る消防の役割	4
警防対策	警防行政の現状と課題、各種災害対策、緊急消防援助隊	16
消防戦術と安全管理	災害現場の指揮、現場指揮要領と安全管理	9
図上研修	図上訓練の企画立案、図上訓練、検証	8
実技訓練	実技訓練の企画立案、図上訓練、検証	18
事例研究	実務研究課題討議	4
健康管理	消防職員の体力づくり、体力管理、精神衛生	6
行事、その他	入校式、修了式、効果測定、オリエンテーション	4
合計		70

エ 専科教育火災調査科第14期

教科目	項目	時間数
講話	職責と心構え	1
原因調査関係法規	原因調査の責任と権限	3
	原因調査に係る関係法規等	
原因調査	原因調査の内容	28
	原因調査の進め方	
	原因調査の要領	
損害調査	損害調査の内容	7
	損害調査の進め方	
鑑定	鑑定の概念と実施要領	3
調査実習	模擬火災調査	7
調査書類	調査書類の作成要領	7
事例研究	実務研究課題討議	6
行事、その他	入校式、修了式、効果測定、オリエンテーション、実火災体験型訓練	8
合計		70

オ 専科教育予防査察科第14期

教科目	項目	時間数
講話	職責と心構え	1
予防査察行政の 現状と課題	予防査察行政の現状と課題、消防関係法令の改正内容	3
消防同意	消防同意の概要	7
査察	査察要領、査察執行管理	23
危険物規制	製造所等に対する規制と査察要領	7
違反処理	違反処理の概要、違反処理手続、違反処理要領、危険物取扱者及び消防設備士に対する行政措置、不服審査手続	13
査察違反処理実習	防火対象物の査察違反処理、危険物施設の査察違反処理	7
事例研究	実務研究課題討議	6
行事、その他	入校式、修了式、効果測定、オリエンテーション	3
合計		70

カ 幹部教育上級幹部科第4回

教科目	項目	時間数
管理職の役割	上級幹部としての職責と心構え	2
業務管理	地方自治の現状と課題、消防行財政の現状と重点施策、情報政策	3
人事管理	人事管理と能力開発方策及び心身の健康管理	4
	人権施策とハラスメント防止	
	メンタルヘルスと惨事ストレス	
危機管理	危機管理理論及び緊急消防援助隊等の広域的部隊運用と他機関との連携	4
事例研究	実務研究課題討議	7
行事、その他	入校式、修了式、オリエンテーション	1
合計		21

キ 特別教育緊急消防援助隊活性化コース第1回

教科目	項目	時間数
講話	職責と心構え	1
消防時事	消防行政の現状と課題	3
人事業務管理	組織と監督、監督技術	5
現場指揮	災害現場指揮要領及び緊急消防援助隊指揮要領と他機関との連携	12
行事、その他	入校式、修了式、オリエンテーション	2
合計		23

ク 特別教育救急救命士活性化コース第2回

教科目	項目	時間数
講話	職責と心構え	1
消防時事	救急業務の現状と課題	1
現場指揮	他機関との連携	4
救急医学基礎	解剖生理学、検査、観察	3
救急訓練	救急救命士特定行為、処置拡大2項目	5
介護実習	基本介護技術、体位管理、高齢者対応	4
総合訓練	救急想定訓練	6
行事、その他	入校式、修了式、オリエンテーション	2
合計		26

ケ 特別教育ホットトレーニング2日間コース第29回・30回

教科目	項目	時間数
各種理論	火災性状理論、熱気・湿気理論、注水理論、安全管理	3
実技訓練	実火災体験型訓練	9
合計		12

コ 特別教育警防研修第11回 実火災体験型訓練指導者養成コース

教科目	項目	時間数
各種理論	火災性状理論、熱気・湿気理論、注水理論	5
安全管理	安全指針及び注意事項、装備品等の確認・個人装備の意義、消火活動の危険性、訓練に伴う危険性の分析	2
実技訓練	実火訓練指導、方法のポイント整理（質疑応答）	21
行事、その他	入校式、修了式、オリエンテーション	2
合計		30

(2) 消防団員教育

ア 基礎教育第75期

教科目	時間数
講話	1
組織制度	1
訓練礼式	3
火災防ぎょ	1
防災・安全管理	2
救急救助	3
基本火災活動訓練	3
合計	14

イ 専科教育警防科第51期

教科目	時間数
防災・安全管理	2
火災防ぎょ活動訓練	4
合計	6

ウ 専科教育機関科第57期

教科目	時間数
道路交通関係法令・緊急走行要領	2
ポンプ運用訓練・機関整備	4
合計	6

エ 幹部教育指揮幹部科第5期

教科目	時間数
現場指揮・安全管理	1
消防活動訓練	7
組織制度・防災指導訓練	3
図上・情報伝達訓練	5
事例研究	2
合計	18

オ 特別教育消防操法指導科第45期

教科目	時間数
指導要領（全般）	3
審査要領（小型）	4
審査要領（ポンプ車）	5
合計	12

カ 特別教育女性団員教育第16期

教科目	時間数
訓練礼式	2
基本火災活動訓練	2
広報・啓発	2
合計	6

キ 現地教育

教科目	時間数
訓練礼式等	5時間以内

ク 一日入校

教科目	時間数
希望に応じた講習及び訓練	3時間以内

(3) 一般教育

ア 自衛消防組織員教育科

(ア) 福祉施設第64期

教科目	時間数
火災の特性	1
防火管理と消防計画	1
消防用設備の性能	1
消防用設備の活用方法	1
普通救命講習	3
各種訓練	5
合計	12

(イ) 事業所

教科目	時間数
防火管理と消防計画	1
消防用設備の性能	1
消防用設備の活用方法	1
合計	3

イ 自主防災教育

教育内容
自主防災組織の必要性
初期消火
図上訓練
救助訓練
搬送訓練
その他、応用訓練

ウ 一日入校

教育内容
消火器の使い方
屋内・屋外消火栓による放水訓練
煙の中を避難する訓練
ビル等の高い場所から避難する訓練
消防車・救急車の乗車体験
その他希望に応じた講習及び訓練

エ 出前講座

教育内容
消火訓練
防火講座
救急講習
その他希望に応じた訓練及び講習

オ 応急手当普及員養成講習

教科目	時間数
基礎的な知識・技能	8
指導要領	14
効果測定	2
合計	24

カ 応急手当指導員養成講習

教科目	時間数
基礎的な知識・技能	8
指導要領	6
効果測定	2
合計	16

5 参考

(1) 令和4年度鳥取県消防学校入校中経費内訳一覧表

(単位：円)

教育種別		教育日数	食費	研修費	諸費 (共益費)	合計	備考		
消防職員	初任総合教育 第7期	155日	254,664	77,950	32,593	365,207			
	専科教育	救助科 第22期	21日	33,696		4,850	38,546		
		警防科 第11期	11日	17,496		3,101	20,597		
		火災調査科 第14期	11日	17,496		2,475	19,971		
		予防査察科 第14期	11日	17,496		2,475	19,971		
	幹部教育	上級幹部科 第4期	4日	6,480		1,307	7,787		
	特別教育	緊急消防援助隊 活性化コース 第1回	4日	6,480		1,307	7,787		
		救命士活性化コース 第2回	4日	6,480		1,307	7,787		
		警防研修 実火災体験型訓練 指導者養成コース 第11回	5日	8,424		1,501	9,925		
		ホットトレーニング 2日間コース 第29・30回	2日	2,592		920	3,512		
	消防団員	基礎教育 第75期	2日	2,592		3,010	5,602		
		専科教育	警防科 第51期	1日	648		2,090	2,738	
			機関科 第57期	1日	648		2,090	2,738	
		幹部教育	指揮幹部科 第5期	3日	3,240		3,110	6,350	
特別教育		女性団員教育 第16期	1日	648		2,090	2,738		
		消防操法指導科 第45期	2日	2,592		2,570	5,162		
		現地教育	1日				0		
	一日入校	1日				0			
一般	自衛消防組織員教育科 福祉施設 第64期	2日	2,592		920	3,512			
	自衛消防組織員教育科 事業所	1日				0			
	自主防災教育	1日				0			
	一日入校	1日				0			
	出前講座	1日				0			
	応急手当普及員養成講習		3日			2,090	2,090	(消防団員)	
							0	(一般)	
	応急手当指導員養成講習		2日			2,090	2,090	(消防団員)	
						0	(一般)		

(注1) この表には、消防職員用の使用教科書代金は含まれていません。

(注2) 金額等は、今後変更になる場合があります。

(2) 携行品一覧表

教育種別	制服(一式)	白手袋	活動服			革手袋	ヘルメット	編上げ靴(救助靴)	防火衣(一式)	レインウェア	トレーニングウェア	アポロキャップ	運動靴(上・下)	スリッパ(上履き)	健康保険証	印鑑	洗面用具	
			作業服	救助服	救急服													
消防職員	初任総合教育第7期		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	専科教育	救助科第11期	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		警防科第22期	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		火災調査科第14期	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		予防査察科第14期	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	幹部教育	上級幹部科第4期	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	特別教育	緊急消防援助隊 活性化コース第1回				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		救急救命士活性化コース第2回					●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	
		ホットトレーニング 2日間コース第29.30回				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		警防研修第11回実火災 体験型訓練指導者養成コース				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
消防団員	基礎教育第75期		●		●		●	●		●	●	●	●	●	●	●		
	専科教育	警防科第51期			●		●	●		●	●				●			
		機関科第57期			●		●	●		●	●		●	●		●		
	幹部教育	指揮幹部科第5期	●		●		●	●		●	●				●			
	特別教育	消防操法指導科第45期				●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	
		女性団員教育第16期				●		●	●				●	●			●	
		現地教育				●		●	●				●	●			●	
		一日入校				●		●	●				●	●			●	
一般	自衛消防組織員教育科 福祉施設第64期										●		●	●	●	●		
	自衛消防組織員教育科 事業所																	
	自主防災教育																	
	一日入校																	
	出前講座																	
	応急手当普及員養成講習																	
	応急手当指導員養成講習																	

※制服着用時における下着は、白色（白シャツでバックプリントのないもの）を着用すること。靴下は黒・紺系統とし、足首が隠れる長さのものを着用するもの。